

類別：機械器具（32）医療用吸引器
吸引器用キャニスタ 一般医療機器 34858000
ヨックスディスポホープ用ライナー

再使用禁止

【警告】

凝固剤を投入する時、コネクションチューブを操作する時は、メインバルブ及びサブバルブを「OPEN」にして行なうこと。（ライナー内の排液がコネクションチューブの先から流れ出ることがあります。また、排液が漏れた場合、危険なので、外したコネクションチューブは人のいる方に向けないこと。）

＊ ＊

＊【禁忌・禁止】

＊ ＊ ・再使用禁止

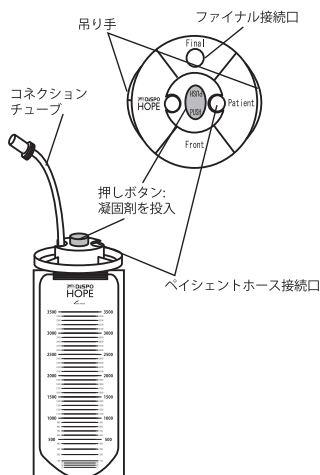
- ＊ 本品を使用する前には必ず「ヨックスディスポホープ S802」の取扱説明書及び添付文書をよく読み、理解された上で、正しく使用すること。（記載事項に従わないと重大な事故に結びつくことがあります。）
- ＊ 本器の使用目的以外の目的（採血用吸引器など）では、絶対に使用しないこと。（重大な事故に結びつくことがあります。）
- ＊ 本品は「ヨックスディスポホープ S802」に使用する専用のライナーです。他に使わないこと。（正常な機能や安全を保てなくなる。）
- ＊ 本品は「ヨックスディスポホープ S802」のボトルにセットし、外科手術や治療などで生じる血液、たん、生理食塩水などの汚物を吸引し、固形化させる汚物収集バッグです。（再使用は行わないでください。感染の原因になります。）
- ＊ 本品は、樹脂製品です。穴を開けたり、高温にさらしたりしないでください。（汚物の飛散、フィルター作動不良によるアウトレットバルブへの汚物の流入などにより感染の原因になります。）
- ＊ 本品内の汚物が本品の最大目盛（2.0L または 3.5L）になる前に吸引を中止すること。（満杯まで吸引すると、医療ガス配管設備及びアウトレットバルブが汚物により汚染されることがあります。）
- ＊ 本品は、ディスポーザブル製品です。（再利用は絶対しないこと。）
- ＊ 本品をボトルにセット後、メインバルブ及びサブバルブを「OPEN」にし、パシエントホースの先端で吸引できることを必ず確認してから使用すること。（正常な機能や安全を保てなくなる。）
- ＊ キャニスターボトルからライナーを外す時や運搬の時は、コネクションチューブを持たないこと。（コネクタとチューブが分離し、排液が飛び出ることがあります。）
- ＊ 排液の入ったライナーのコネクションチューブは開放したまま放置しないこと。（チューブから排液が漏れることがあります。）
- ＊ 当社の純正部品以外は使用しないこと。（正常な機能や安全を保てなくなる。）

＊ ＊

＊【形状・構造及び原理】

本品は、ヨックスディスポホープ S802（一般的名称：真空吸引器、届出番号 10B2X00014C00013）に使用するライナーである。

1. 形状



＊ ＊

	2Lタイプ		3.5Lタイプ	
	凝固剤入り	凝固剤なし	凝固剤入り	凝固剤なし
重さ[g]	246	171	279	179
寸法[mm]	φ 160 × 312		φ 160 × 430	

＊ ＊

＊ 2. 性能

- 1) 入口吸引圧力 -53.3 kPa ～ -80 kPa
- 2) フィルター作動 2 L (1.8 L 以上)
3.5 L (3.15 L 以上)

3. 原理

真空吸引器（ヨックスディスポホープ S802）からの吸引圧により、体液等の排液を吸い込み、ライナーに貯留させる。貯留された排液が満杯になると吸引が停止する。また、吸引終了後、凝固剤入りライナーは押しボタンを押すと、凝固剤が投入され、排液が凝固される。

【使用目的又は効果】

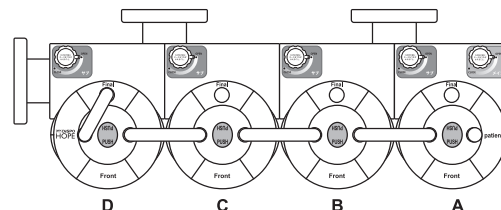
本品は、単回使用であり、排液の回収のために真空吸引器とともに使用するキャニスタである。

＊【使用方法等】

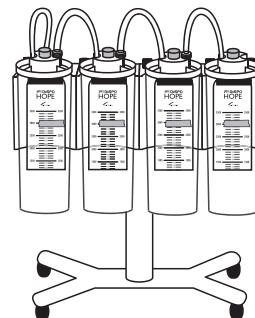
操作方法または使用方法等の詳細については、ヨックスディスポホープ S802 の取扱説明書をご参照ください。

1. 使用準備

- 1) 必要に応じた形状のキャニスターを準備する。
- 2) ライナーをセットする。
 - ① プロテクターに汚れがないことを確認する。
 - ② ライナーを用意する。
 - ③ ライナーのテープを剥がさずにそのままボトルへ差し込む。
 - ④ ライナーの目盛や、ライナー上蓋の“Front”の刻印が正面になるよう位置を調整する。
- 3) ライナーを連結する。
 - ① ライナー(A)のコネクションチューブを次のライナー(B)の吸引口に根元までしっかりと差し込む。



- ② 後は (B) から (C)、(C) から (D) と連結する。連結の最後のライナーのコネクションチューブはファイナル接続口に差し込む。



2. 操作方法

- 1) アダプターホースを吸引アウトレットに接続する。
- 2) パシエントホースをライナー (A) のパシエントホース接続口に接続する。
- 3) パシエントホースの先端で吸引できることを確認する。

確認方法

- ① メインバルブを「OPEN」に合わせる。
- ② 各ボトルのサブバルブの目盛を「OPEN」に合わせ、キャニスターボトル内のライナーに吸引圧が作用し、ライナーがボトルに沿って膨らむことを確認する。
- ③ ライナーが膨らまない場合は、部品を確認し再度セットする。
- ④ パシエントホースの先端から吸引ができることを確認してから吸引を開始する。

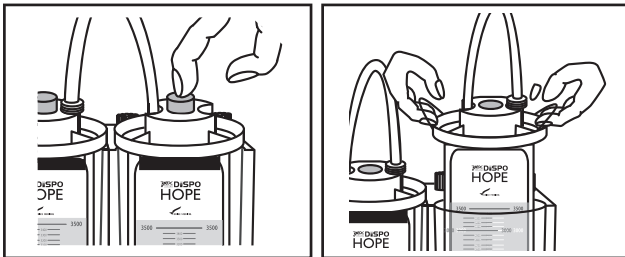
- 4) 吸引の開始
メインバルブ及びサブバルブを「OPEN」に合わせ、ペイシエントホースの先端から吸引する。
- 5) 吸引の中断及び停止
 - ①吸引器全体の吸引を停止させるときは、メインバルブを「CLOSE」に合わせる。
 - ②各ボトルの吸引を停止させるときは、サブバルブの目盛を「CLOSE」に合わせる。
 - ③使用後は速やかにライナーからペイシエントホースを外し、ライナーの廃棄を行なう。

3. ライナーの処理（廃棄処理）

- 1) メインバルブ及びサブバルブを「OPEN」に合わせる。
- 2) 廃棄するライナーのコネクションチューブをペイシエントホース接続口に差し替える。



- 3) 廃棄するライナーの押しボタンを押し、凝固剤を投入する。



- 4) サブバルブを「CLOSE」にし、ライナーの吊り手を持ってボトル内のライナーを抜き取る。
- 5) ライナーを適合する法規に従って廃棄する。

【使用上の注意】

1. 警告

- 1) ライナー連結時のコネクションチューブは奥まで差し込むこと。
- 2) ライナーとボトルは確実にセットすること。
- 3) 連結の最後または単独使用のライナーは必ず新品を使用すること。
- 4) 連結の最後または単独使用のライナーのコネクションチューブは、必ずファイナル接続口に差し込むこと。
- 5) チューブ類を抜き差しするときに無理な力を掛けないこと。
- 6) ペイシエントホース及びアダプターホースは内径φ 6 mmを使用すること。
- 7) 一つのアウトレットバルブでは一台の吸引を行ない、二又にするなどの同時使用は絶対にしないこと。
- 8) ライナーは確実にセットすること。
- 9) ライナーに記載されている目盛は目安です。精密な排液量の測定には、微量ボトルをお使いください。

2. 禁忌・禁止

- 1) 異常が確認されたライナーまたは異常と思われる不完全なライナーは絶対に使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- 1) ライナーはポリ袋などに収納し、所定の保管場所にて保管すること。
- 2) 保管場所の条件：
保管温度 5～40℃
高温、ほこり、水、湿気等が無い場所であること。
温度、ほこり、湿度、風通し、塩分、いおう分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所であること。
化学薬品の保管場所やガスの発生する場所でないこと。

2. 耐用年数・使用期間

ライナーは前述の保管場所に於いて使用期限：1年間

【取扱い上の注意】

1. ライナーを転倒及び落下等の衝撃を加えないでください。
2. 包装を開梱する際は、カッターなどの鋭利なものは使用しないこと。

【保守・点検に係る事項】

ライナーは使用前に必ず下記のことを目視で確認してください。

- 1) ライナーに亀裂、損傷及び変色、劣化、落下等による変形等がないか。
- 2) ライナー内に凝固剤やセット部品が落下していないか。

【主要文献及び文献請求先】

株式会社 群馬コイケ
〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町 222-1
TEL 0270-32-4318

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社 群馬コイケ
TEL 0270-32-4318